
おおきなウドの大木【生き抜き日記ぱーとつー】

ウドの大木

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

おおきなウドの大木【生き抜き日記ぱーとつー】

【Nコード】

N2146G

【作者名】

ウドの大木

【あらすじ】

前回に懲りず大二弾！作者、お前はさっさと書けよ！そんな声がピンピン伝わるぜ！ごめんなさいでもやめられない！

(前書き)

執筆開始2月15日

さむっ・・・いやマジ寒いや。何で俺一人休憩無しで働いてるかな・・・あー腹減ったん・・・殺気！

・・・あれ。いつぞやのカメラマンさん。久しぶりー。何してるの現場なんかカメラ片手に入ってきてここ入行書無いとダメだよ。あ、あるんだ

「カンペをペラリ」

・・・またやるの？いやまあいいけどさ。今回はどれやるのさ

「カンペをペラリ」

あー行方不明の方ね。まあどうせ皆一服してるしサボるか

さて、まずはタイトルから行きますか。この「はれのち行方不明」の起源は昔あったアニメ、晴れのプタってアニメを思いだし、晴れのち〜〜みたいなのにしよと思ったのが最初です。行方不明って辺りは別に涉が行方不明になる訳では・・・

それではキャラクター編です。まずは白髪の佐我遊思君。僕キャラとして出てきた訳ですが一歩先から闇の霞君同様二面性を持つてる

わけです

「あ、作者さん。ここ何処ですか？」

急に現れたな遊思君。此処は島根県松江市だよ

「島根ですか。それはそうと僕ってどうやって産まれたんですか？」
君の原案は作者の高校時代に遡るのだよ。とある会社の小説大賞に応募するべく書き上げたのが何を隠そう晴れのち行方不明なのだよ。と言ってもこれは2作目でその前に戦場物の作品を応募してたりする
「結果はどうでした？」

みなまで聞くな！あの頃の俺なんてタイムマシンがあれば抹消してやりたい程の駄作書いてたさ！今の比じゃないね！もっと本を読め！
キノ 旅読め！

アリ ン更に読め！

終わりのクロニク 百回読め！

シ ナ万回読め！

撲殺天 死ぬまで読め！

「・・・ちなみに作者さんが投稿したのは」
エレクトリックな会社だよ。俺はおかゆさんと時雨さんを全力で応援するね！死ぬまで応援するね！

「カンペをペラリ」

「あ、巻いてだって」

あのツンデレ灼眼と巨乳っ子の駆け引きとか悪の副生徒会長と奥多摩の電波時差でCDでゲームが出来る事実を知らないせつちゃんさっちゃんとか撲殺とかもう最高だね！！ねえ画面の向こうの君も分かるよね！ねっ！

フィードバック

はっ！俺は何をしてた！

「やつほー作者さーん」

おや？白髪に付きまとうロリストーカー擬きの美樹ちゃんじゃないか
「せいやあー！」

うそおお！俺の手首位ある鉄筋曲がった！これ太さ5cmあんだよ！
「ストーカーじゃないもん！愛の狩人だもん」

うわあ。こいつマジで言い切つてやがる。一応遊思君の脳内構造〃
俺の妄想な訳で彼の好みは一目瞭然なのだが……

「さーくーしゃーさん」

ごめんなさいマジで首根っこ掴まないで脳に、脳に新鮮な血液を

「ゆうちゃんのお好きなタイプは？」

アナタサマのヨウなカワイイらしいオジヨウサマでし。遊思美樹ラブ

「いやあん。ゆうちゃんにアタックしに行かなきゃ」

アタックつて……

「ちなみに作者さん。私の起源は？」

中学の元クラスメートです。無断で名前使いました。容姿も割と近いのでいいかな的に

美樹！割とゴメン！でも後悔はしない！

さあ美樹には退場願おう。佐我遊思召喚！

「美樹、愛してるよ」

「ゆうちゃん……」

白馬に乗ったプリンス遊思に導かれ光の彼方に消え失せた

おしごとちゆう~~~~しばらくお待ちください

おしごとちゆう〜しばらくお待ちください

あー腹一杯。味は悪いけど腹に入れば一緒だな

カメラマンが現れた

「カンペをペラリ」

次は心か。大和撫子＋武士道を基礎に生まれたのがこちら、夢見心ちゃんです

ギン！

ギヤア！鉄筋スパツと切りやがった！

「馴れ馴れしいぞ作者。赤子同様この世から葬りたいか？」

ごめんなさいマジでごめんなさい

「ふん。口には気を付けるんだな」

心さんは何故そんなに怒ってらっしゃるんですか？昼前の美樹ちゃんとプリンス遊思君がバルハラに旅立ったから？

「死ねエエエエエエエエエエエエ！」

ちよおおおつと！それ切ったらあかんでえええ！修理代〓ベンツなんだよ！後で君にも遊思君2号出してあげるから！

「よし。私の起源はなんだ？」

(単純だね) 心さんのモデルはら ひなの青山 子です。まあ書いてる内にホントピュアになったね。その内キスシーンとか考えてたけどどうなの？

「・・・・・・・・」

君めっちゃ顔赤いやん。ちょ、過呼吸過ぎだよ。ね、落ち着いてはい深呼吸。吸ってー吐いてー。吸ってー吐いてー。OK？

「あ、ああ。OKだ」

後君の武器、【黒天血】なんだけど・・・なんて言えばいいかな、黒い斬鉄剣みたいな？

「この武器の出所は書かないのか？」

あ、それはその内書きます。その武器作ったのは昔から続くとある一族の名刀なんで

やべっ！先輩来やがった！再び佐我遊思召喚！

「心、ちよと買い物出掛けない？」

「ゆ、遊思！いいいぞ！何処でも行くぞ」

いつもの遊思君とテンパリ過ぎ心ちゃんは光の彼方に消え失せた

「ウドの大木(仮名)！さぼってるな！」

「今来たのにさもサボってたみたいと言わないで下さいよ！」

「こんなの落ちてたぞ！サボってただろ！」

カンペ「ウドの大木サボり中」

カメラマン！

ぐおお。先輩やり過ぎだぜ。これは一人でやらせちゃアカン

カメラマンが現れた

カメラマン！てめえーの血は何色だあ！

カンペを置いて手伝うカメラマン

か、カメラマンさん。有り難う。俺は貴方を誤解していた！

共同作業中

共同作業中

いや終わった終わった
サンキューカメラマン！

「カンペをペラリ」

はいはい続きね

次はやはり悠さんと源さんだねー。いでよ、お二方！

「あらあら初めまして。作者さんですよね」

「誰だこのおっさん？」

おっさんってあなたに言われとう無いワイ。アンタとは30倍以上
歳離れとるぞ

「そうですね、貴方を考えたのも作者さんなんですよ」

頭が高いぞ源さん！悠さんもああ仰ってるんだぞ！

「オマエ、姐さんの能力が正直怖いんだろ」

ああ怖いさ。書いててなんだが世界のホ德里連盟でも三本指に入る
くらい卑怯極まりない力だからな。しかも代価も無いしな

「あら、お二人でないしよ話ですか？」

「違うよなー大木？」

そうですね悠さん。ちよつと進行の打ち合わせを

「あら、そうでしたか」

それでは先ずは悠さん。晴れのち行方不明第一話で書きましたがお
二人とも既に人としての寿命をかなり越えています。この設定は高校
時代から全く変わってません

悠さんの力に関しましてはネタバレ防止のため伏せてますがかなり
異常だだけ書いておきましょう。取り敢えず京都老舗旅館の美人
若女将を想像して頂ければ結構です

「あら、若女将だなんて。作者さんったら」

一つ一つの仕草がとても上品です。さて次は一つ一つの仕草ががさ

つに見える源さんこと不蔵技源八。おおくらぎと読みます

源さんは初期設定から変化は御座いません。基本猫として地区一帯を仕切っており、最上級変身「虎黒」は大きさとしてワゴン車位です。小動物や心臓の弱い方は迂濶に近付くと簡単に意識とオサラバ出来るオーラが吹き出しております

「初代四聖獣全て屈服させましたからね。源は本当に頼りになりま
すよ」

「い、いや、そんな事は無いですよ」

もし源さんに挑戦状を叩きつけた方がいらしたら取り敢えず時速
60kmのトラックを己の肉体で止めてから本文をお書き下さい

さてここらでお二人様にはご退場願いましょうか。いでよ佐我遊思
君！

「悠さん、源さん。晩御飯出来ましたよー」

悠さんは優雅にお辞儀して、源さんは軽く手を上げて光の彼方に消
えました。あ、源さんチョコ持ってきやがった！

いやー今回はこんな感じでいいかな？

「まだ裏設定あります？」

裏設定ねー。まああるとすればその内書くけどホデリってのはあく
まで日本での呼び名でして、その国々で組織名称が違うのです。そ
してやはり組織のトップに副将的な人々がいるわけですが、定期的
に会合なんぞ開いてる訳で近々日本で開かれます

「これ裏設定？」

え？だめ？・・・告知じゃないかって？
・・・だね

裏設定ね、まあ登場人物の半数近くは中学のクラスメートです
読者諸君！もし自分の名前があつた時、アナタのクラスメートがウ
ドの大木かもしれない！

「最後に一言」

一言ね、取り敢えず長々と書きましたが季節の移り変わりが全く合
わず、真冬に真夏ネタはどうかと思いますが生暖かい視線で見守つ
て下さい

お願い！見捨てないで！

カメラマンは光の彼方に消えた

おお！カメラマンさん消えた！どんな技を使ったんだ？
あれ？先輩いつのまに？え？何虚空に向かつて独り言喋ってる？ち、
違いますよ！さっきまでここにカメラマンさん居たんですよ！ちよ、
なんすかその可哀想な生き物を見る眼は！やめて！か、堪忍したつ
て！

なんで皆さん離れていかれるの！お願いだから一人にしないで！

(後書き)

ごめんなさい。本編はなるっただけ早く仕上げるため努力しております

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2146g/>

おおきなウドの大木【生き抜き日記ぱーとつー】

2010年10月16日19時01分発行